

◆NEW

7月19日、楽天「kobo

Touch」がついに発売され、同時に電子書籍ストア「Koboイーブックストア」もオープンした。「kobo

Touch」の販売は、楽天市場はもちろん、ビックカメラ、ソフマップ、コジマ、ヨドバシカメラといった大手家電量販店、TSUTAYA各店で行われるうえ、丸善やジュンク堂などの大手書店でも店頭展示やプロモーションが実施される。

「koboイーブックストア」には、小説やエッセイ、ビジネス書、コミックなど、外国語コンテンツも含めた約240万点がアップされているが、日本語コンテンツは約3万点。このうち1万点は青空文庫だから、まだまだ点数は貧弱だ。



Koboイーブックストア

大手出版社では、講談社や小学館、角川グループ、幻冬舎などが電子書籍を提供。楽天では、独占先行配信の書籍も20作品を用意した。そのなかで注目は、7月17日に直木賞を受賞した『鍵のない夢を見る』（辻村深月著、文藝春秋）、『余った傘はありません』（鳥居みゆき著、幻冬舎）や『ドラッカー名著集1～15』（ピーター・F・ドラッカー著、ダイヤモンド社）などだ。

三木谷浩史社長は、現在1日当たり1000点ずつタイトルを追加しているとし、「今後は効率化により1日3000点までは増やせる」と自信をみせた。

